

事業の基礎情報

実施主体	日高町
事業実施地域	日高町 富川・平賀・福満・富浜・門別本町・緑町・厚賀町
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉（健康づくり）
共創パートナー	北海道日高振興局、サツドラホールディングス株式会社、有限会社もんべつ交通、有限会社富川ハイヤー、株式会社駅探、株式会社未来シェア、(株)シン技術コンサル
運行形態	AIデマンド交通等
運行主体	日高町

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

複数の交通モードの重複運行による運行費の増大と交通弱者の医療機関への移動手段の確保という課題に対し、「交通」×「健康」により健康づくりに寄与する持続可能な新たなモビリティサービスの構築を見据えた本実証運行を実施する。

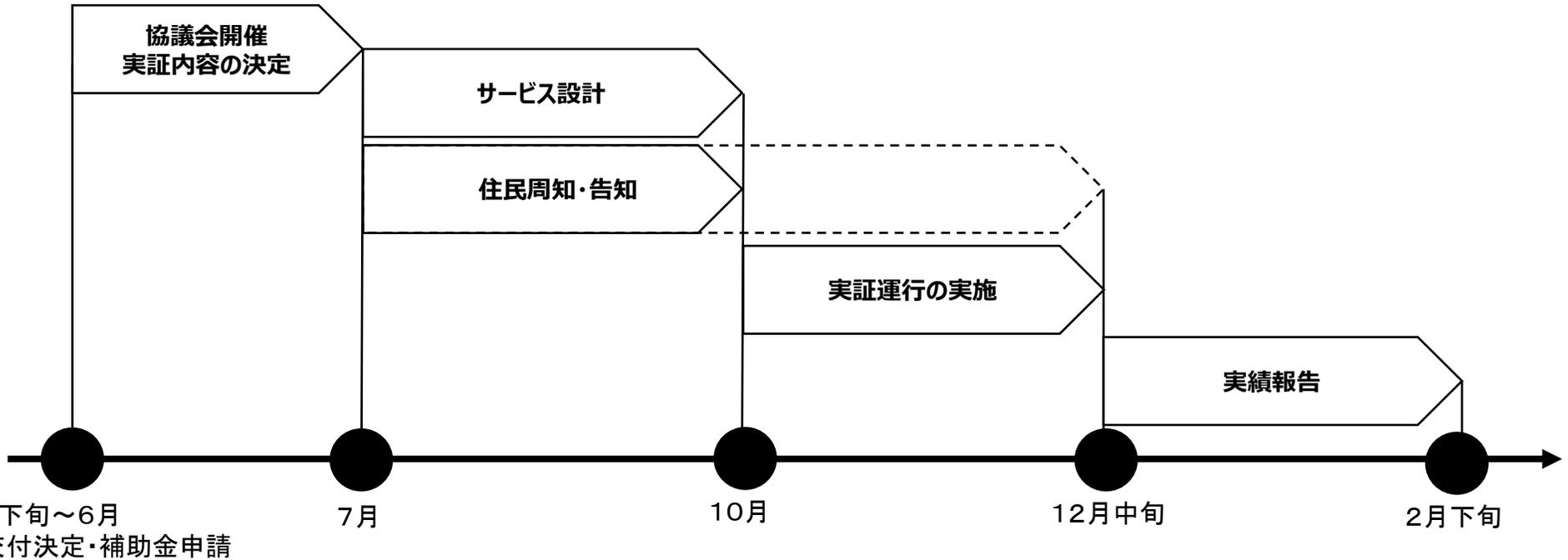
新たなモビリティサービスによる実証事業は、高齢化社会に対応していくために「健康づくり」と「公共交通利用の促進」を結び付け、増え続ける医療費の抑制や健康寿命の延伸に繋げていくことを目的とする。

（事業の概要）

対象エリア内の既存の有償運送や無料送迎交通（スクールバスを除く）を休止し、「富川・門別本町方面」にてAIデマンド交通の有償運送の実証運行を行い、その移動ニーズと必要性を検証する。さらに、AIデマンド交通の利用や日常生活における歩数に応じてポイントを付与したり、複数の健康イベントについて参加に応じポイントを付与し、AIデマンド交通利用料に還元するサービスを提供することにより、公共交通の利用促進と合わせ楽しみながら高齢者等交通弱者が健やかに暮らせる生活環境を確保するものである。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

公共交通計画においてAIデマンド交通の本格導入を令和7年度に見据える中で、本実証運行に基づく利用ニーズやサービス内容の改善点・必要性を踏まえた「輸送人数」、「収支率」、「行政負担額」を評価指標として反映することにより、事業の進捗状況を管理しながら持続化を図るとともに、町内の他地域においても運行区域の拡大を図る。

健康づくりのポイントについて、AIデマンド交通の利用料金の還元だけではなく各町の商工会の参加・協力を得ながら、商店・店舗等での買い物割引制度の確立・普及を目指す。